投与法②　倉田式経管投薬法 ver.2

(60mLｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰを使用する場合)

1）1回分の薬剤をｷｬｯﾌﾟの付けた60mLｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰに入れます。



カプセル剤も
そのまま入れ
ます



2）60mLｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰに約20mLの55℃の温湯を吸い取り筒先の蓋をして､ｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰを横転させ撹拌し放置します。





キャップをはず
し空気を抜く





キャップを付け
撹拌する



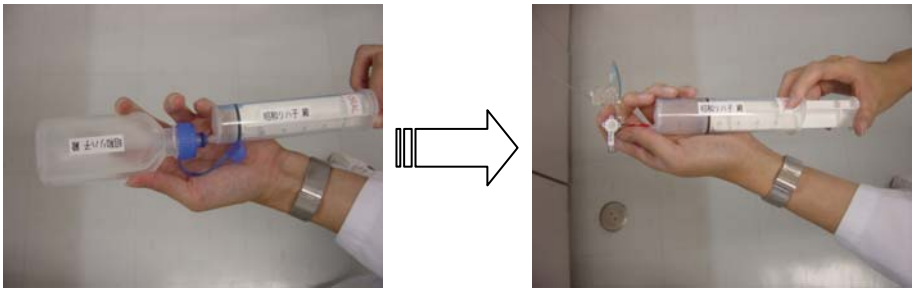
55℃の温湯の作り方
1.ﾎﾟｯﾄのお湯と水道水の割合を
ﾎﾟｯﾄのお湯：水道水=2：1にする。
2.多くの施設でﾅｰｽｽﾃｰｼｮﾝの水を一番
熱くして出すと約55℃となる。
3.60℃設定のﾎﾟｯﾄを使用する
（すぐにさめて55℃になる）。

3）経管栄養終了後、経管栄養剤の入れ物に少量の人肌程度の湯を入れﾌﾗｯｼｭします。

4）三方活栓の薬剤投与部分にｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰをつなぎ薬剤を投与します。(誤接続防止のためﾁｭｰﾌﾞとﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰの径が合わないのでｱﾀﾞﾌﾟﾀｰを使用します)



5）ﾌﾗｯｼｭ用水剤瓶に水を入れ、ｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰに吸い取り、ﾁｭｰﾌﾞに注入し残った薬剤を洗い流します。



6）使用器具は0.01%次亜塩素酸Na（ﾐﾙﾄﾝ、ﾋﾟｭｰﾗｯｸｽなど）に1時間浸漬後、乾燥させて再利用します。